藤岡市立北中学校
北の風
平成26年度
No.９
平成26年11月28日

期末試験も終了し、２学期も残すところ１ヶ月となりました。多くの学校行事では、大変お世話になりありがとうございました。子どもたちは、行事の中で多くのことを学んできています。特に強く感じることは、周りにいる大切な人の存在を感じていることです。自分や学級、部活という集団の中で、自分たちが頑張れるのは、それを支えてくれる親や地域の人々、学校の職員などの多くの人がいて活動できるのだということです。チャレンジウイーク、体育祭、そして第４回北斗祭、子どもたちの心に「生きている証」は、確実に残っているはずです。

感動、感激そして感謝　生徒一人一人が輝いた北斗祭

感動の第３学年合唱

11月６日（水）に開催した「北斗祭」では、大勢の保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。生徒の合唱はどの学級も一生懸命練習してきた努力が感じられ、素晴らしい出来でした。金賞を目指して、みんなで力を合わせて真剣に歌う姿に、ハーモニーの美しさだけでなく、北中生の素直な心の美しさを感じました。

また、学年合唱や全体合唱の素晴らしさ、生徒が協力して作り上げる歌声、生徒が一丸となる姿は、北中学校の今の姿を現していました。午後の少年の主張、科学部、美術部そして生活科学部の活動発表、３年生のダンス発表、吹奏楽部の迫力ある演奏、どれも「北中学校の今」を表現していたと思います。また、エントランスホールの文化部やロボコン部の展示、どれをとっても３年生を中心に頑張ってきた北中の生徒の生きる証を感じるものでした。今回の軌跡を２年生以下に引き継ぎ、開校４０周年の記念の北斗祭に繋げていきましょう。文化祭実行委員さん、生徒会本部の皆さん、ＰＴＡ役員や保護者の皆様のご支援とご協力で、素晴らしい北斗祭ができたことに感謝いたします。

11月12日、関西二期会の方々による演奏会が開催されました。保護者の方も聴きに来ていただきありがとうございました。二期会の方の合唱もとてもすばらしかったですが、子どもたちの聴く態度もとても良かったです。文化祭の合唱を経験し、歌う人と聴く人の心が１つになっていました。演奏を終え帰校する二期会の方々が、本校の子どもたちの歌う姿勢、そして聴く姿勢をとても褒めてくれました。北斗祭で身についた姿が、二期会の鑑賞会でも発揮されていました。

県大会も頑張る　北斗祭の二日後、県の駅伝大会が渋川森林公園で実施されました。本校は、市で優勝した男、女チームとも出場しました。女子は29位、男子は10位とともに敢闘しました。８位入賞を目指した男子は、後半区間が追い上げ10位まで順位を上げました。この大会を目指し、多くの生徒たちが朝の早いうちから、年間を通し練習に練習を重ねて頑張ってきました。ご苦労様でした。

上野中にも参加　県駅伝大会と同じ11月8日に、3年生の有志の皆さんが上野中学校の文化祭に友情参加して、北中学校のハーモニーを披露してきました。

年間を通して交流している上野中との友情をさらに深めることができました。
　また、11月14日（金）に開催された藤岡市小中音楽発表会でも、参加した吹奏楽部の演奏と３年生の学年合唱が大変素晴らしく、前校長の新井第一小学校長や前神流小で現在第二小の柴岡校長は、北中の演奏を絶賛していました。

小学生が部活を体験　11月21日（金）に、小中連携事業の一環で、来春本校に入学する藤岡第二小と神流小の６年生が、本校の部活動を体験しました。各部活で活動の様子を説明したり、実際に練習に参加させたりして、部活動の雰囲気を伝えました。北中生になる日を楽しみにしてくれると良いと思います。

関東大会へ　12月6日(土)に吹奏楽部、12月7日(日)にロボコン部が千葉県で行われる関東大会に出場します。吹奏楽部は西部地区ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙｺﾝﾃｽﾄでも金賞を取りました。夕方遅くまで練習した成果を全て出し切り頑張ってきてください。

将来への道

　12月に入ると、第2回目の人権集中学習が実施されます。11月には「いじめ防止フォーラム」が藤岡中高校で開催され、多野藤岡の小中高の子どもたちが一同に会し、自分たちの活動を見直し、改めていじめのない生活を考えました。世界中には、残念ながら多くの差別や偏見が存在しています。人種や宗教など異なる人たちが一緒に生活していく上で、最も大切にしていかねばならないことは、お互いがかけがえのない存在だということです。この世に生を受け生まれてきた赤ん坊は、生きることに必死で、母親の乳を飲み、無邪気な笑顔をしています。どこの国でも、赤ん坊は世界中の宝です。この赤ん坊が成長する中で、多くの教育を受け、自分の考えを持っていくとき、誰とでも仲良く生活していける人になってもらいたいと思います。今回の北斗祭を観て、北中の子どもたちの一人一人を大切な人と捉え、活動してきた姿が、世界中に広がっていくことを切に祈ります。社会には、色々な立場の人が互いに繋がりを持ちながら生活をしています。中学生として自分の将来を考える時、多くの職業を考えることも大切ですが、１人の社会人として、どのように生きていくのかを考えることも、同じように大切だと考えます。北中学校の皆さんが社会人になる時、一人一人が大切にされる世界にしてほしいと思います。

家での生活を見直そう　12月に入り、街の賑わいもクリスマスや、お正月の雰囲気になっていきます。新聞紙上でも、振り込め詐欺、スマホやＳＮＳなどの問題が報じられています。特に、スマホなどの情報器機は、小さな時から使用すると中毒になることが報じられています。使用については、１日10分以内など時間を決めることが必要です。北斗祭の閉会行事でも話したように、これからの時期は大地にしっかりと根を張る時。３年生は自分の進路に向け、１・２年生は部活動に全エネルギーを向ける時です。中学生期は、多くのことに興味関心が向く時ですが、将来を見据え、今自分がしなければならないことは何だろうか、良く考えることが大切です。来春すばらしい花が咲くために、大木は大地に根を張っています。北中の生徒の皆さん、寒い時期を迎えますが、来春にみんなですばらしい花を咲かせましょう。